

わか杉カップ 2年ぶり優勝

7月8日(金)、全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会横手わか杉カップ2016が雄物川体育館で開幕し、最終日の10日(日)、決勝と順位決定戦4試合が行われました。

東海大付属札幌高校(北海道)、岩手県選抜(岩手県)、仙台市立仙台商業高校(宮城県)、霞ヶ浦高校(茨城県)、尼崎市立尼崎高校(兵庫県)、高川学園高校(山口県)、愛媛県立松山工業高校(愛媛県)と本校が参加し、本校は2年ぶり2度目優勝を果たしました。初日の開会式は1、2年生が、最終日の決勝戦は2、3年生が会場で声援を送りました。インターハイに出場する8チームによるハイレベルな試合を観戦し、日々の厳しい練習により鍛え上げたクラスメイトに声援を送り、雄物川高校生としての誇りと自覚を改めて実感することができました。

- 試合後、早坂主将は、コンビプレーの精度を欠いたことを課題に挙げ、「インターハイでの勝利のために今大会の経験を生かすため、しっかりと練習したい」と決意を述べていました。



わか杉カップ 対高川学園高等学校 サーブを打つ早坂選手

H28年度雄高祭を開催しました

6月24日(金)～25日(土)
 今年は家庭クラブによる「すいかソフト」の提供や、JRC同好会による東北の復興支援のための物販をはじめ、文化部による展示や催しが大変好評をいただきました。ステージ発表では、毎年恒例の「クラスライブ」や「ファッションコンクール」の他、今年は生徒会3年生による「いじめ撲滅のための寸劇」を上演しました。脚本、演技、演出を全て生徒で手掛けたこの劇は、地域の方からも大きな拍手をいただきました。「Brilliant Wave～私たちの想いを乗せて～」と



吹奏楽部のステージ



生徒会による寸劇 「INCONSPICIOUS」

いうテーマのもと開催した今年度の学校祭も、無事に終了することができました。たくさんのお客様のご来校に感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成28年度 部活動大会成績(7月22日まで)				
I 運動部				
1 第61回県南高等学校総合体育大会				
学校対抗	優勝	男子バレーボール部		
学校対抗	第3位	女子卓球		
学校対抗	第4位	女子バレーボール部		
個人	第2位	女子卓球	ダブルス	
個人	全県出場	ソフトテニス競技	男子個人戦	後藤・佐々木組
個人	全県出場	ソフトテニス競技	男子個人戦	米山・高橋組
個人	全県出場	ソフトテニス競技	男子個人戦	伊藤大・武藤組
個人	ベスト8	ソフトテニス競技	女子個人戦	高村・柴田組
個人	全県出場	ソフトテニス競技	女子個人戦	播磨・佐藤組
個人	全県出場	女子卓球	女子W	福地・佐々木組
個人	全県出場	女子卓球	女子W	戸巻・浅田組
個人	第3位	女子卓球	女子S	佐々木雪乃
個人	全県出場	女子卓球	女子S	福地のどか
個人	全県出場	女子卓球	女子S	戸巻柚里奈
個人	全県出場	女子卓球	女子S	浅田 彩乃
個人	第1位	陸上競技	男子砲丸投	遠藤 隆矢
個人	第5位	陸上競技	男子400mH	佐藤 大地
個人	第3位	陸上競技	男子やり投	小松 勝太
個人	第6位	陸上競技	男子やり投	鎌田 聖
個人	第4位	陸上競技	女子走高跳	立谷 奈々
個人	第3位	柔道	男子個人戦90kg級	米川 和真
2 第60回秋田県高等学校総合体育大会				
学校対抗	優勝	男子バレーボール部		
個人	第4位	陸上競技	男子砲丸投	遠藤 隆矢
個人	第6位	陸上競技	男子やり投	小松 勝太
3 東北高等学校選手権大会				
学校対抗	準優勝	男子バレーボール部		
4 横手わか杉カップ				
学校対抗	優勝	男子バレーボール部		
5 第67回県民体育大会				
学校対抗	優勝	男子バレーボール部		
II 文化部				
1 秋田県高等学校ワープロ競技大会				
団体競技	第3位	雄物川高校		
個人	優勝			木村 慧斗
※個人優勝の木村慧斗は全国大会出場				
2 第58回秋田県美術展覧会				
個人	入選	デザイン		沼倉 里香
3 全日本吹奏楽コンクール 第58回秋田県大会県南地区大会				
学校対抗	金賞	高等学校小編成の部		
		全県出場シード校		

平成28年度中学校生徒等の高等学校体験入学実施について

今年度の雄物川高校体験入学を次の通り計画いたしました。

- 1 日時 平成28年8月25日(木) 13:00～15:40
- 2 場所 雄物川高等学校
- 3 対象 中学校3年生とその保護者等

中学3年生のみなさん及び保護者の方々に本校の特色等を是非ご理解いただきたく、ご参加くださるようご案内いたします。

詳しくは次の「H28 体験入学案内(pdf)」、「H28 体験入学日程(pdf)」、「H28 体験入学申込用紙(word)(一太郎)」をご覧ください。

美術部沼倉里香さん デザイン部門
秋田県美術展入選 おめでとぅ



タイトル「人生選択」

6月15日(水)、第2回朝のつどいを行いました。

第2回つどいでは生徒による校歌指導の他、2年生の音楽選択者による「ハナミズキ」の合唱と、3年C組の半田瑠華さんによるパブリックスピーチを行いました。

国際教養大学のグローバルセミナーに参加した半田さんは、「『学校』という枠組みを超えて他校の高校生と交流する機会を通して、新しい自分を発見することができた。みなさんもこれから様々なことに挑戦してみてください。」と全校生徒へのメッセージを話してくれました。

2年生による合唱



半田瑠華さんのパブリックスピーチ



5月30日(月) スーパー・ハイスクール栄養セミナーを行いました。

女子栄養大学教授の西上一弘先生をお招きし、「骨太人生をめざそう～成長期のライフスタイルを考える～」という演題で講話をいただきました。



講師の西上一弘先生

上西先生は箱根駅伝優勝チームの栄養アドバイザーを務めていた栄養教育のスペシャリストです。全県総体を前に各部の選手から全力を出すためのコンディション作りについてや大会前のおすすめメニューは？等の質問ができました。アンケートをみる限り雄物川高校生はカルシウムの摂取状況がよくないことが判明しました。是非ご家庭でも乳製品や大豆製品(納豆など)、骨まで食べられる小魚など、カルシウム摂取を念頭においたメニューを少しずつ取り入れていただくと骨太人生を送ることができると思います。

(生徒の感想)・自分は基本的にカルシウムが足りないということがわかりました。骨は今もこれからもとても大事なものであることがわかりました。バランスのいい食事や、ビタミンD、カルシウムの摂取、運動することを心がけ、骨を丈夫にしていきたいです。今日学んだことを家族にも伝えたいと思います。
・「骨粗鬆症」は聞いたことはありましたが具体的なことはわかっていませんでした。今から牛乳やヨーグルトを積極的に摂って、今日の「カルシウムチェック表」の数値を少しでもあげられるようにしたいです。大会前はレバニラを食べてがんばります。



7月15日(金) 第3回朝のつどいを行いました

3年C組 柴田弥悠さんのパブリックスピーチ

「すいかソフトプロジェクトから学んだこと」を紹介します

私たち家庭クラブは、「すいかソフトプロジェクト」に参加し、地元のスイカを使った「すいかソフトクリーム」を販売しています。

まず始めに、「すいかソフト」とは、すいカのジャムを使ったソフトクリームです。着色料は一切使用していないので、ほんのり薄いピンク色をしています。本物のすいかに近づけるために、塩で炒ったすいかの種をトッピングしています。気になる味ですが、すいか独特の青くさはなく、すいかジャムの濃厚さが感じられるものの、さっぱりとした後味です。すいかが苦手な人でも食べられる味になっています。

すいかソフトプロジェクトは、雄物川町の特産品であるすいかを、夏だけではなく1年中楽しめるようにしたいという考えから、昨年8月にスタートしました。市役所の方からアイデアを求められ、一緒に作り上げることになり、まずは今年の雄高祭での販売を目標に、試作や試食、プレ販売に取り組んできました。

試作では、ちょうどよい甘さにするためにジャムの量を調整したり、トッピングに使う種の塩加減や固さを調整したりしました。昨年9月下旬に行われたPTA交流会では、たくさんの方に試食していただき、「おいしいね」と声をかけられたことで、プレ販売への自信をつけることができました。昨年10月に「えがおの丘」で行われたプレ販売でも、子どもからお年寄りまで、たくさんの方が食べてくださり、嬉しかったです。そして、今年の雄高祭。200個のすいかソフトを販売することを目標にしていたのですが、約300個のソフトを完売させることができました。終わった後は、達成感でいっぱいでした。



すいかソフトのポスター

私は、家庭クラブでの活動を通して、学んだことがたくさんあります。その中の1つが、自分の意見を持ち、それを話すことの大切さです。家庭クラブの活動では、幅広い世代の方との交流があり、アイデアを求められることが多くなりました。これまでは、正直、ただ話を聞いていることが多かったのですが、意見を言わないことには物事は進んでいきません。それに、自分なりの考えをもつことで、視野を広げることができます。未熟な考えであっても、今はサポートしてくれる大人の人たちがたくさんいるので、自信をもって意見を言うことが大切だと思いました。このように、自分の意見でつくり上げる楽しさがある反面、ものを作る責任感も学びました。販売している以上、自分たちだけが満足するのではなく、相手に満足してもらえるようにしなければなりません。「高校生」という立場に甘えず、「雄物川高校」や「雄物川町」の看板を背負っているんだという意識を高くもたなければならぬと思いました。

雄高祭での販売活動では、自分自身や家庭クラブとしての課題もたくさん見えてきました。今後も地域のイベントですいかソフトの販売を行う予定なので、これまでの反省を活かして、たくさんのお客様に笑顔になってもらえるように頑張りたいと思います。そして、雄物川町だけでなく、横手市全体や県内外にも知られるような活動をし、すいかの町・雄物川町を多くの人にPRしていきたいと思っています。これで、私のスピーチを終わります。



完成したすいかソフト



手際よくミキシング